

戸田市 施策評価シート

作成日	令和 3年 6月21日	作成者名	佐々木 敏典	評価者名	櫻井 聡
-----	-------------	------	--------	------	------

1. 施策の位置づけ <PLAN>

基本目標	07 人が集い心ふれあうまち	中心となる課	市民生活部・協働推進課
分野	05 国際交流・国際化・国内交流	関係課	
施策	80 市内在住外国人への支援の充実		
施策の目的	市内在住の外国人と市民が互いの文化に対する相互理解と交流を深めることによって、地域のまちづくりを担う仲間となり、在住外国人と市民の心がふれあう住みやすいまちにします。		

2. 施策の主な取り組み <DO>

取り組み①	在住外国人支援事業
取り組み②	
取り組み③	
取り組み④	
取り組み⑤	
その他の取り組み	
その他の取り組み	

3. 施策の指標における成果（主な指標）<CHECK>

指標名	指標の説明 (算定式)	単位	目標値	達成値					
				H27	H28	H29	H30	R1	R2
外国人向け事業参加者数	外国人向けの交流等の事業に参加した(国際交流協会事業外国人参加者数)	人	772	672	558	715	524	497	63
ボランティア登録者数	在住外国人支援等を行うボランティア(国際交流協会登録ボランティア数)	人	206	181	165	184	208	209	215
その他施策の取組事項に係る成果									

4. 施策の展開 <ACTION>

課題	外国人市民との相互理解や交流の機会が少なく、支援や地域の理解促進などに係る取り組みが求められている。また、戸田市国際交流協会を中心に、在住外国人への支援の充実を図っているが、より活用してもらうために、国際交流協会自体の周知や実施事業に関する随時の見直しや積極的な周知・広報活動が必要になっている。	対応策	市役所での手続き等を支援するために、外国人市民相談窓口を開設した。手続き以外にも日本語教室等生活に関する相談等もあり、国際交流協会を紹介するなど、協会の周知を併せて行った。外国人市民相談窓口や国際交流協会は、多文化共生を進める上で重要な役割を果たすことから、有効的な活用方法について模索していく。 国際交流協会の交流事業については、新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が中止となってしまったが、引き続き外国人市民が交流を図れるような事業の実施を求めていく。
----	--	-----	--

○結果と今後の方向性（シート作成次長記入）

進捗状況 (A 躍進中、B 予定通り、C 遅れ気味)	説明 (総評)	新型コロナウイルスの影響により国際交流協会の事業は多くが中止となったが、外国人支援ボランティア登録数は増加しており、より活躍できる仕組みの構築が必要となっている。また、外国人市民の市役所手続き等を支援する外国人市民相談窓口を開設し、外国人市民の支援を行った。
今後の方向性(人員/予算) (↑増加、→維持、↓削減)	説明 (人員/予算)	総務省においても14年ぶりに多文化共生に関するプランを改訂するなど、多文化共生に関する取組は今後もニーズが高まっていくことが予想される。社会経済情勢を注視し、適正な人員・予算要求を行っていく。
→		

(評価者コメント)

国際交流、多文化共生に関する意識の高い市民の発掘等に努め、国際交流協会において、多くのボランティアに活躍の場を提供しながら、引き続き外国人市民への支援を図ることが重要である。コロナ禍においても、地域住民を含めた多くの人々が参加し、交流や相互理解が図られるように、事業内容や実施方法、周知の工夫などを、国際交流協会へ働きかけながら、外国人への支援の充実を図っていく。
--

